

今回は地下鉄すすきの駅より徒歩8分、就労継続支援B型「アイの実」にお邪魔してきました。

アイの実は、当事者のご親族がいらっしゃる理事長が福祉施設に関心を持たれたことをきっかけとして、「利用者の方が本当にやりたい仕事ができるような事業所を作りたい」という思いをもとに、平成24年6月に開設されました。メインの利用者は精神障がいの方で、現在、200名の方が登録されています。

1 作業所の特徴について
アイの実では、就労に必要な知識や能力を向上させ、自立した社会生活・日常生活を営むことができるようになることを目的とし、主に午前中はPCのスキルアップを目的としたワード・エクセルの作業などを、午後は、様々な小物づくりなどを行っています。

PC作業では、小売店や食堂などの値札や商品案内、名刺や各種はがきの作成などを行っており、初心者の方でもPCの電源の立ち上げから親身なサポートを行っています。

小物づくりでは、ミツバチの菓子の「蜜蝋」を使用した「みつろう石けん」(元氣シヨップで販売)や印鑑ケース(道庁の売店で販

売)、つまみ細工やUVレジンを利用したストラップやアクセサリーなどのその他小物(バザーで販売)を作成しています。バザーは中央区民センターで行っており、「利用者の社会とのつながりも大事にした」という思いから、利用者スタッフが一丸となって販売を行っています。



色あいやデザインなどには、利用者の様々なアイデアや個性にあふれています

2 職場の雰囲気づくりやサポートについて
アイの実では利用者の体力や精神面に配慮した支援を行っているのはもちろん、利用者が安心して通所できるように、「相談しやすい雰囲気づくり」を特に心掛けています。事業所内には休憩室を兼ねた相談室が2つ準備されており、事業所内のことだけではなく、日常生活のことやご家族のこと、病院のことや金銭管理のこと、人との関わり方などといった利用者の様々な悩みに対し、複数のスタッフで幅広く相談に乗っています。そういった配慮もあり、利用者からは、「これまで色々な事業所に行ってきたけれど、ようやく居場所を見つけました」といった声をいただいたこともあるそうです。

また、一般就労が決まった利用者に対しても、就労の直前まで様々な不安や悩みに対するフォローをしたり、就労後も相談に乗ったりしています。アイの実では月1回ほどレクリエーションを実施しており、ホテルのランチバイキングやプラネタリウム、江別のアースドリームなどに皆さんでバスで行ったり、事業所やホテルなどでクリスマス会や

忘年会・新年会なども行ったりしています。こういった行事などは皆さんのコミュニケーションが深まる機会になるのはもちろん、何よりも利用者の方々がこつこつとした行事が大好きで、いつも大変盛り上がるそうです。



つまみ細工と農家の方からいただいた稲穂を使って作ったしめ飾りです

3 事業所名「アイの実」の由来について
「アイの実」という名前は、「人と人が助け合うこと」「人への思いやりの気持ちを常に持つこと」「人と人のつながりを大切にしたい」という「大きな愛」を、小さな実からみんなで育てたい、という思いが込めてつけられたそうです。今回、取材でお邪魔した際、事業所内では、利用者スタッフの皆さんがとても和やかであたたかい雰囲気でお話をされており、こういった想いのもと、利用者の方々が相談しやすい雰囲気づくりや信頼関係づくりがなされていて、利用者の得意なことや好きなこと、様々なアイデアが形にできる環境づくりがなされているのだと感じられました。

利用者は大募集中のことですので、入所、見学を希望される方は左記連絡先までご連絡ください。

〈連絡先〉064-0805 札幌市中央区南5条西8丁目7番6号 アーバンビル2階
就労継続支援B型 NPO法人 アイの実
電話 011-551-7100
FAX 011-551-7101

てく Take ちゅう Walking 43

『お仕事拝見!』